



## 品川シーサイドで「藤丸うどん」実食！

弊社のお客様が品川シーサイドにうどん店を新規出店されたので、実食しに行ってきました。

店舗の場所は品川シーサイド。あまり来たことがないエリアですが住宅地ですね。肉やきつね、味玉もあり贅沢な一品。うどんには珍しく「すだち」もついており味変ができ美味でした。うどん好きの方、お近くを伺うことがある方はぜひご賞味ください。（志戸岡）

### マイカー通勤手当の非課税限度額が改正されました

令和8年4月1日以後に支給される通勤手当から、マイカー通勤(自動車・自転車等の交通用具を使用した通勤)に係る非課税限度額が改正されました。改正のポイントは2つです。

#### ① 片道 65 km以上の非課税限度額の引上げ

改正前の非課税限度額は、通勤距離が片道 55km 以上の人は一律 38,700 円/月額でしたが、片道 65 km以上について、下記のように引き上げられました。

- ・ 片道 65km 以上 75km 未満 → 45,700 円
- ・ 片道 75km 以上 85km 未満 → 52,700 円
- ・ 片道 85km 以上 95km 未満 → 59,600 円
- ・ 片道 95km 以上 → 66,400 円

#### ② 駐車場料金相当額の非課税限度額への加算

マイカー通勤者が一定の要件を満たす駐車場等(※)を利用している場合、その駐車場料金相当額(上限 5,000 円/月額)を、通勤距離の区分による非課税限度額に加算できることとなりました。

【参考】 通勤手当の非課税限度額の改正について(国税庁)

<https://www.nta.go.jp/users/gensen/2026tsukin/index.htm>

### 早期離職する若者の離職理由と労務管理のヒント

新卒・若手社員の早期離職が企業課題となっています。独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)が行った「若年者の能力開発と職場への定着に関する調査」結果から、「新卒就職者が初めての正社員勤務先を離職した理由」と労務管理のヒントを探ります。

#### ●離職理由の傾向

調査は 2016 年に第1回、2019 年に第2回、2025 年に第3回が行われ、各回の対象年齢や質問項目は厳密には一致しません。しかしながら、第2回・第3回の離職者全体の回答では、男女とも「労働時間・休日・休暇」「賃金の条件」「健康を損ねたため」「人間関係」が上位に入り、これらが普遍的な離職理由であることがうかがえます。

また、勤続1年以内に離職した若者で突出する離職要因は、男女ともに「健康を損ねた」「人間関係」「自信喪失」となっており、入職直後の職場や仕事への適応が職場定着に重要であることが確認できます。他方で、5年超勤続者の離職では「キャリアアップ」「希望条件に合う仕事が見つかった」「結婚・出産・育児」が高く、前向きな理由が増加しています。

#### ●労務管理のヒント

第3回調査では、仕事や働くことについての悩みを相談できる相手がいるか否かによって若者の職場定着状況は大きく左右されると予想し、相談状況を分析しています。早期に離職した若者ほど悩みがあっても相談しないまま離職した傾向がみられ、離職者は勤続者と比べて職場のコミュニケーションが不足している傾向も指摘された、としています。不本意な早期離職を防止し職場定着を推進するには、だれでも利用できる「入社直後に相談できる場」を職場外に整備することが重要であると、結論づけています。

【参考】 JILPT 若年者の能力開発と職場への定着に関する調査(第3回)

[https://www.jil.go.jp/institute/research/2025/documents/250\\_01.pdf](https://www.jil.go.jp/institute/research/2025/documents/250_01.pdf)

### 「在留カード等読取アプリ」をご存知ですか？

「在留カード等読取アプリ」とは外国人の不法滞在や不法就労への対策として、国が無料で提供するアプリケーションです。スマートフォンやパソコンにダウンロードして使うことができます。本人の同意を得てカメラで在留カードのICチップを読み取った後、在留カード表面に印刷されている在留カード等番号を読み取ると、ICチップ内の情報と印刷情報を照合することができます。

#### ◆「外国人雇用状況の届出」の運用改善

厚生労働省は検討会で議論を行っており、年1回程度の定期的な報告が必要ではないかという意見や一律に追加的な事務負担を求めるべきではないとの意見があります。今後の動向に注意しましょう。

【参考】 「在留カード等読取アプリ」案内チラシ

<https://www.mhlw.go.jp/content/001572156.pdf>

### 『働き手不足 1100 万人』の衝撃 古屋星斗(著)、リクルートワークス研究所(著)

人が足りない。このことは多くの経営者が感じていることですが、リクルートワークス研究所がデータをもとにこれからどれだけ人が不足するか書かれています。エッセンシャルワーカーと呼ばれる医療、福祉、介護、教育、保育、建設、治安維持(警察・消防)といった職種は人が足りず現在の質を保持することができないことが予想されています。これらの職種は労働集約型の仕事で効率化を進めにくく、また、保育や介護職は低賃金という業界の問題も人不足に拍車をかけています。興味深かったのが、「働き手が神様です」という1つの未来予測。日本では「お客様は神様です」という精神性が根付いていました。これからは、サービスを提供してくれてありがとう。と、働いてくれる人を尊重する社会が来るかもしれません。そうなるかとカスハラもなくなりますね。

